



竹田市と大分短大 再生プロジェクト

つなぐ「片ヶ瀬のトウツバキ」

大分合同新聞
2024年
4月4日(木)
朝刊 13面

市指定天然記念物「片ヶ瀬のトウツバキ」竹田市内ヶ瀬



【竹田】樹勢の衰えを受け大分短期大（大分市千代町）で育てていた竹田市指定天然記念物「片ヶ瀬のトウツバキ」の後継樹が、市内竹田の旧竹田荘（国指定史跡）敷地内に植えられた。市と同短大は2020年に協定を結んで再生プロジェクトに着手。原木の樹勢回復とともに、後継樹育成に取り組んできた。同短大関係者は「大切に育ててもらい、竹田のシンボルになれば」と話している。

市教委まちづくり文化財課によると、トウツバキは樹齢160～200年で高さ約7メートル。市内片ヶ瀬の大庄屋の屋敷跡に植えられている。市出身の南画家田能村竹田（1777～1835年）が新築祝いで贈ったとされる。数年前から花数が著しく減少したため、2019年に吉野賢一特命教授（80）に後継樹は現地調査。衰退度を5段階で2番目に悪いⅣ（著しく不良）と判定した。根元付近に大きな傷があり、放置すれば倒れる恐れもあったという。後継樹は現地から持ち帰



顔写真右から同短大のチーフが現地調査。衰退度を5段階で2番目に悪いⅣ（著しく不良）と判定した。根元付近に大きな傷があり、放置すれば倒れる恐れもあったという。後継樹は現地から持ち帰

旧竹田荘に後継樹植える

った枝先を使った。学生は三つの手法を試し、園芸アドバイザー中島宏二さん（81）大分市敷戸東町・同左の指導でサザンカと寄せ接ぎをした40株のうち1株が成長。高さ約1・3メートルまで育った。旧竹田荘は風当たりが強くなき、田能村竹田の住まいだった。3月下旬にいった植樹式では、志賀哲哉竹



田市教育長と同短大の荻本庸志学長特別補佐が根元を土をかけた。竹田の歴史を彩る大切な木として成長してほしいと述べた。吉野特命教授は「由緒ある場所に植えることができた。学生は活動を通じて、知識や技能の習得とともに地域の課題解決に取り組むよい経験ができた」と話した。（指原祐輔）

旧竹田荘の敷地内に「片ヶ瀬のトウツバキ」の後継樹を植えた関係者ら。竹田市竹田

〔問①〕竹田市の「片ヶ瀬のトウツバキ」の樹齢は何年ですか。

160～200年

〔問②〕旧竹田荘は誰の住まいだったでしょう。その人物について調べてみよう。

田能村竹田。調べ学習

〔問③〕自分の住んでいる市町村の指定天然記念物を調べてみよう。

調べ学習